

2024年度対象
自己点検・評価報告書

令和 7（2025）年 4 月 1 日
新白河国際教育学院

報告書の見方

1. 点検・評価項目の設定は、出入国在留管理庁の「日本語教育機関の告示基準解釈指針」をベースにした。
2. 点検・評価項目にそれぞれ評価細目を設け、それらを個別評価（ABC）し、項目ごとに「達成状況」「課題・改善計画など」を記述した。
3. ABC評価の内容は次のとおりである。
 - A : 達成されている。
 - B : ほぼ達成されているが、不十分なところがあり改善に取り組んでいる。
 - C : 達成に向けて努力している。

令和6(2027年度) 新白河国際教育学院

自己点検・評価報告書

日本語教育機関名：新白河国際教育学院	
点検・評価項目	評価
1. 理念・教育目標	
【教育理念・目標】 現在、世界の多くの人々が目指す社会は「グローバル社会」と言われている。 「グローバル社会」とは、グローバル（国際的）な視野を持って、ローカル（地域的）な活動をする人々が住む社会を目指すことばである。 情報化、ボーダレス化が進む時代においては、常に国家を超えた発想が必要となる。そして、そのような時代に得られるボーダレスな情報の中から、物事を正しく判断する力を人々が身に着け、地域で生きていくことで、国際的な活性化が促進されると考えられる。要するに今、地域から世界を変える人材が求められているのである。 言葉を学ぶということは、その先にあるものを知ることが目的となるはずである。それは、言葉はツール（手段）だからだ。言葉というのは、自分の能力、可能性を広げるための道具でもある。 日本には「鬼に金棒」ということわざがある。そのことわざが生まれたのは、皆が持っていないものにあこがれを感じたからではないだろうか。日本語は外国人の方々にとって、その可能性を広げる「金棒」になるはずである。 学生には皆、無限の可能性がある。当校はその可能性を日本で開花できるよう応援する。そして、当校が学生にとって、世界へ羽ばたくための滑走路となることを目指す。 つまり当校は、日本語を学ぶ外国人の学生が、国際的な視野を広げ、地域に貢献できるような人材となること、そして世界に羽ばたくチャンスをつかめるような能力を身に着けさせることを理念とする。	
1-1. 教育理念、教育目標及び育成する人物像が明確になっているか	A
1-2. それらの内容が社会のニーズに合致しているか	B
* 達成状況、課題、改善計画など 【達成状況】 1-1～1-2. 一応達成できている 【課題、改善計画など】 ・ 理念・教育目標は一応定められているが、今後時代のニーズに合わせてさらに発展させるための検討を現在行っている。	
2. 学校運営	

2-1. 理念・目標に沿った運営方針や事業計画が策定されているか	B
2-2. 組織運営が整備されているか	B
2-3. 学則・組織・人事・財務・学務に関する諸規程が整備されているか	B
2-4. 教職員の採用・定員管理・研修並びに評価は適切に行われているか	B
2-5. 情報共有は適切に行われているか	A
2-6. 意思決定システムは整備されているか	B
2-7. コンプライアンス体制が整備されているか	B
2-8. 危機管理体制（対学生は項目 5 参照）は整備されているか	B
* 達成状況、課題、改善計画など 【達成状況】 概ね達成できている。 【課題、改善計画など】 2024年度は出入国管理庁への届出の遅れにより当局より指導を受けた。届出の遅れには、組織の運営体制・コンプライアンスの意識の不十分さがあると思われ、特に経営陣は、経営環境が大きく変化するなか、今後この点に十分な留意を払いつつ組織の運営を行って行く必要がある。現在改善を行っているところであるが、改善を確実に進めて行く必要がある。	
3. 教育活動の計画	
3-1. 教育理念に沿った教育課程編成方針が定められ、教育課程が体系的に編成されているか	B
3-2. 日本語教育機関の告示基準第六は守られているか	A
3-3. 教育課程改善のための取組は行われているか	A
3-4. 学生が到達すべき日本語能力の目標が明示されているか	B
3-5. 明確な成績評価や進級、修了の判定基準が定められ、かつ、適正な運用がなされているか	B
3-6. 教員の指導力向上のための取組は行われているか	B
3-7. 学生による授業評価は行われているか	C

＊達成状況、課題、改善計画など

【達成状況】

概ね達成できている。

【課題、改善計画など】

- ・現状はN1合格レベルに到達する学生はほぼ皆無であるため、現在カリキュラムの変更申請を行っており、今後は、様々な国籍の学生にあわせて「進学コースA」「進学コースB」とともに国内の高等教育機関への進学を目標とし、N2、N3レベル到達を目指すものとするとしている。
- ・定期的に教務主任を中心とした使用教材または進捗状況に関わる会議が行われ、各レベルの指導内容に関わるミーティングを行っている。
- ・成績評価や進級、修了の判定については、点数を主な評価基準としているが、学則・規定への記載など不十分な点もあるためその点の整備が必要である。
- ・2023年度は教員の指導力向上のために、一月に一度程度、学内研修を行っていたが、2024年度は、認定日本語教育機関への申請に向けた体制整備など業務に追われ、研修の回数が十分確保できなかった。今後、業務の状況を踏まえつつ、十分な研修回数を確保できるよう体制を整備してゆく予定である。
- ・専任講師・非常勤講師ともにブラッシュアップを図ることで、教育の質の維持・向上を図っていく。
- ・現在、アンケート項目を検討中であり、近日中には実施したいと考えている。

4. 教育活動の実施	
4-1. 学生の日本語能力向上が図られているか	B
4-2. 学生の日本語能力は本校が定める到達目標・評価基準に達しているか	B
4-3. 学生の進路を適切に把握しているか	A

* 達成状況、課題、改善計画など

【達成状況】

達成できている。

【課題、改善計画など】

- ・ 日本語力向上のために、各クラス内で日々改定やスケジュール管理、フォローアップなどを行っており、向上に努めている。
- ・ 現在非漢字圏出身の学習者が多く達成レベルが現在のカリキュラムの目標に達しないこともあるため、今後の対策を検討中である。
- ・ 到達目標や評価基準については、今後改善の余地がある。
- ・ 学生の進路に関しては、常に学生の進学状況を把握し、卒業後も進学先、就職先などの情報収集を積極的に行う。

5. 学生支援	
5-1. 学習相談や進路支援及び在留資格に対する支援が整備されているか	A
5-2. 学生の在籍管理は十分機能しているか	A
5-3. 健康管理や日本での生活指導等の支援体制が整備されているか	B
5-4. 防災や緊急時における体制が整備されているか	B

* 達成状況、課題、改善計画など

【達成状況】

達成できている。

【課題、改善計画など】

- ・ 学習相談については、随時授業担当講師が対応している。
- ・ 進学支援は各クラスの授業内での様子等を踏まえ相談に応じており、ガイダンスや各大学・専門学校の説明会の紹介などを行い、学生の意識が進学に向くよう努めている。
- ・ 在留資格に対する支援については、在留資格期限の管理や在籍者数、資格外活動の状況等の管理をしており、進級・進学の在留資格更新や資格変更に対しても支援を行っている。
- ・ 生活指導担当者等が出席率の低い学生がいた場合、面談を行い指導している。
- ・ 健康管理については、過去に一部の学生につき健康診断の時期が遅れることがあったが、現在は在籍している4月生については7月前半までには実施されている。
- ・ 防災については、年に一度防災訓練を行うこととしているが、対象年度は実施できなかったため、今年度は実施予定である。
- ・ 防災備品については、日々管理をすることとしている。
- ・ 緊急時にどのように対応するか、非常勤講師に改めて周知する。

6. 教育環境

6-1. 日本語教育機関としての施設・設備が十分かつ安全に整備されているか

A

6-2. 教材は適切か

A

6-3. 学習効果を図るための環境整備はなされているか

B

* 達成状況、課題、改善計画など

【達成状況】

概ね達成できている。

【課題、改善計画など】

- ・ 保健室や図書室等、日本語教育機関の告示基準が定めている施設、設備は整備されている。
- ・ 教材は、原則としてカリキュラム記載のものを採用しているが、カリキュラム変更を検討中のため今後それに合わせて変更の予定である。

7. 入学者の募集

7-1. 入学者の募集は、入学受入れ方針に基づき適切に行われているか

B

7-2. 入学志願者に本校の情報は正確に伝えられているか

B

7-3. 入学者選抜は適切に行われているか	B
7-4. 授業料等の納入金は適切か	A
* 達成状況、課題、改善計画など 【達成状況】 達成できている。 【課題、改善計画など】 ・独自の合格ラインが設けているが、基準の明確性や教員間での認識の共有等、改善が必要な部分がある。 ・日本語教育機関の告示基準を遵守して、今後も運営をしていく。	
8. 財務	
8-1. 当該年度及び中長期的な財務計画は策定されているか	B
8-2. 中長期的な財務基盤は安定しているか	B
8-3. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	B
8-4. 財務情報の公表の体制はできているか	B
* 達成状況、課題、改善計画など 【達成状況】 過去に新型コロナによる入学者数（入国者）の減少により赤字決算となっていたが、現在は、生徒数も増加し財務状態としては黒字化を達成できている。 また上記の事情の下、予算計画通りに進まない状況があったが、上記の状況の解消にあわせ、予算案の決定体制の見直しも進めており、今後は予算計画の達成が可能となるものと解される。 【課題、改善計画など】 税理士と連携し、適切な会計処理を継続する。予算案の決定体制を見直し、予算制度を十分に機能させる。	

9. 法令遵守	
9-1. 出入国管理及び難民認定法令及び各種関係法令等の遵守はなされているか	A
9-2. 個人情報保護の取組は適切か	A
* 達成状況、課題、改善計画など 【達成状況】 達成できている。 【課題、改善計画など】 ・ 日本語教育機関の告示基準に則った出入国管理が行われている。 ・ 個人情報保護規定に関する取り組みを職員は理解、実施している。 ・ 就業規則などの各種規定を整備しており、常時閲覧可能で不明点は確認できる環境である。	
10. 自己点検・評価	
10-1. 自己点検・評価は適切に実施されているか	B
10-2. 自己点検・評価に基づく改善には取り組んでいるか	B
10-3. 自己点検・評価結果は公表されているか	A
* 達成状況、課題、改善計画など 【達成状況】 概ね達成できている。 【課題、改善計画など】 ・ 本校では、今回2024年度の自己点検・評価を行い、ホームページ上で報告書を公表する。 ・ 引き続き 2025年度を点検評価対象に、評価項目を整理し、日本語教育機関の告示基準に則り、自己点検・評価作業を行い、報告書として取りまとめる。 ・ 今後自己点検体制についても一層整備することを予定している。	

11. 地域貢献・社会貢献	
11-1. 本校の資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	A
11-2. 公開講座等が行われているか	C
* 達成状況、課題、改善計画など 【達成状況】 達成できている。 【課題、改善計画など】 地域のボランティア活動や、国際交流イベントに積極的に学生を参加させ、共生社会構築に貢献している。	